

Q：ドパミン不足が原因であるパーキンソン病の治療薬レボドパ製剤に、ドパミン遮断薬のドンペリドンを用いるのはなぜか

A：ドンペリドンは、血液脳関門の透過性が低く脳には到達しにくいと言われている¹⁾。したがって、パーキンソン病の病状を悪化させるリスクが少なく²⁾、パーキンソン病治療薬のレボドパ製剤で起こる吐き気・食欲不振といった消化器症状を改善させる目的で広く使われている³⁾。また、レボドパ製剤は腸管からの吸収率が悪いいため、効果にムラが生じてしまうことがあり、いわゆるレボドパ製剤の効果が現れないことや効果発現に時間がかかるなどの原因になる。これらを解消するために、消化管運動を改善するドンペリドンの使用がガイドラインでも選択肢として挙げられており²⁾、レボドパ製剤の吸収効率を高める効果が期待されている。

1) ナウゼリン®錠 インタビューフォーム

2) パーキンソン病診療ガイドライン 2018

3) Lertxundi U et al. Domperidone in Parkinson's disease: a perilous arrhythmogenic or the gold standard? Curr Drug Saf. 2013 Feb;8(1):63-8. PMID: 23656449.